

海浜清掃

— 心と海を美しく —

浜分中学校

7月2日(土)に北斗市の海浜に落ちているごみを、浜分中学校の生徒たちが、仲間たちと協力しながら、拾い集めました。野外での活動のため、熱中症が危惧されていましたが、気温も丁度良く、気持ちの良い海風が吹いていました。

今回の海浜清掃は、初めて、浜分小学校と合同の課外活動でした。ごみを拾い、海を美しくすることを通して、浜分中学校の生徒たちと浜分小学校の児童たちの距離が縮まっていくのを実感しました。



浜分小の児童と浜分中の生徒が協力して活動



大きなごみも力を合わせて引き揚げました！

海浜に落ちているごみは、多種多様でした。生徒たちは、「このごみは、燃やせるごみなのか…燃やせないごみなのか…それとも？」と分別の仕方に奮闘していました。また、一人では到底持ち上げることでない程の大きなごみを、「一緒に引き揚げよう！」と力を合わせて、協力している場面も多く見ることができました。

地域や保護者の方々にも見守られながら、安全かつ楽しく活動することができ、生徒たちは、ボランティア精神の向上と自然を大切にする気持ちを高めることができました。

SDGsを意識した 教育活動

本校では、SDGsを意識した教育活動として、リングブル回収活動や職業体験等、さまざまな取組を行っています。

また、総合の時間を活用し、生徒一人一人が課題意識を持ち、どのように解決していくかを考え、主体的・協働的に取り組んでいます。

さらに、年度末には、SDGsに関して学年内で、さらには、小学生に向けてプレゼンを行う機会を設けています。このような活動を通して、生徒たちが、「持続可能な社会の創り手」として積極的に社会に参画しようとする態度を育てることを目標としています。



SDGsのプレゼンをしている1年生

ICT教育の推進

本校では、教育活動を進めるにあたり、ICTおよび視聴覚機器・教材を活用することでより効果的に指導内容の理解を深め定着を図り、発達段階に応じた「個別最適な学び」と「協働的な学び」を目指しています。

具体的には、学びポケットというアプリを活用し、学習面では、資料の蓄積(ポートフォリオ)や意見交流し伝え合う場面、生活面では、生徒の出欠状況確認・体温チェックにおいて効率的に行っています。



タブレットを活用した授業風景

(浜分中学校 教諭 山崎 蓮太)